

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

第10回実践発表会 演題募集のお知らせ

会員の皆様から日々の実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「まとめたいこと」などを実践発表、研究発表として募集し、みんなで学びあう場を企画します。

自分自身の振り返り、実践のまとめ、腕だめしとして、是非ともあなたの日頃の実践を紹介してください。

演題募集要項

1、テーマ

ソーシャルワーク業務に関する実践報告、調査研究、業務分析など（自由演題）

2、実践発表会・日時

平成27年3月14日（土） 13:00～17:00（予定）

3、実践発表会・場所

兵庫県民会館 3F 「303」

〒655-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL078-321-2131

4、申し込み資格

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会会員

5、発表方法

口述発表 10分 質疑応答5分（パワーポイント使用可）

ご発表いただく方には、後日、発表要綱をご案内致します。

6、申し込み方法

1) 演題申し込み **締め切り 平成26年12月26日(金)必着**

裏面申し込み用紙に発表趣旨と必要事項を記入し、下記申し込み先まで FAXにてお送り下さい。

（裏面の申込書でFAXにてお願い致します）

2) 抄録原稿の提出 **締め切り 平成27年3月6日(金)必着**

抄録原稿はA4用紙（縦）2枚（横書き・図表等含む）でお願いします。

そのまま印刷しますので、折り曲げずに下記まで郵送及びメールで送付して下さい。

A4用紙に印刷するときは、上下、左右の余白を3cm以上あけてください。

7、申し込み・お問い合わせ先

〒655-0854 神戸市垂水区桃山台5丁目1117-1

介護老人保健施設 佐野記念アットホーム 木村

電話 078-751-7200 FAX 078-751-7381

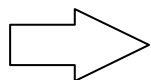
E-mail athome@ares.eonet.ne.jp

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

第 10 回実践発表 演題申込書

ふりがな		受付 No.
申込者氏名		
所属機関・部署名		
所属機関連絡先	〒 TEL E-mail	
共同演者(あれば)	所属機関名	
演題名		
発表趣旨		

演題申し込み先 : 介護老人保健施設 佐野記念アットホーム 木村



FAX 078-751-7381

申し込み締め切り : 平成26年12月26日(金) 必着

以下は、今までに発表された演題の一覧です。日々の実践報告、事例など様々なテーマが発表されてきました。共同発表の形式を取るなど、グループでの発表もOKです。多数の応募、お待ちしております。

過去の発表演題

- ・新人セミナーに世話人、アシスタントとして参加して
- ・退院支援における医療機関と地域との連携について
～担当者の連携における意識の違いを考える～
- ・老健施設における在宅認知症高齢者支援～認知症夫婦の支援を通して～
- ・緩和ケアにおける地域医療連携のあり方
～ソーシャルワーカーの視点からとらえた現状と課題～
- ・クローン病患者に対するソーシャルワーカーの関わり
- ・無料・低額診療事業の相談に携わって
- ・「ケアを継続させるための退院支援のあり方を考える
～入退院を繰り返した事例を通して～」
- ・「無縁社会 ～独居の認知症患者に対する支援を通して～」
- ・「無料低額診療事業を利用した一事例」
- ・「小規模多機能ホーム・デイサービスとの連携のもと実現した在宅支援」
- ・「医療機関と福祉施設との連携について ～地域連携パス認知度調査をとおして一考察～」
- ・「介護支援連携指導への取り組み」
- ・「入院中の患者の家族との接触が困難となった事例に対してのMSWの関わり」
- ・「回復期リハ病棟における在宅支援の一事例」
- ・「ここで生きたい ～阪神淡路大震災から17年～」
- ・「兵庫県MSW協会 新人研修めだかプロジェクトXI 共同研究」
- ・「公立朝来和田山医療センターにおける
ソーシャルワーカーの取り組みと地域との連携について」
- ・「家に帰ればきっと良くなる！
～その人の意思を尊重することと、その思いを支える制度とは～」
- ・「相談支援日誌の効果的活用を目指して ～もっとソーシャルワークが見える形に～」
- ・「外来及び退院後の終末期がん患者と家族に対する相談支援の意義と課題
～療養場所選択の支援について～」
- ・「医療ソーシャルワークにおける退院調整看護師との役割分担と業務への影響
～急性期病院のMSWに対するアンケート調査速報～」
- ・「認知症患者への各院所の取り組みの報告」
- ・「塚口病院における包括的患者支援」
- ・「M氏と向き合い共に歩んだ257日～クライアント主体のSW援助とは～」
- ・「自己決定」について考える～生体間腎臓移植ドナー面接を通して～
- ・「石巻での災害支援活動を通して ～私が見たもの、感じたこと～」